

里山若葉クラブ



仲澤 實さん

若葉台集会所の裏山で活動しています。以前は暗く生い茂った山でしたが、間伐し、散策路を整備しました。住宅地のすぐ隣にあるため、ピザ窯や山の傾斜を利用したステージホールなどを作ることで、地域住民が集う“気軽にいける里山”になりました。活動する我々も、遊びにくる人も、気の合う者同士で非日常を味わえる憩いの場所です。



椎茸の菌打ち体験

自慢のピザ窯



里山クラブ可児



大鹿 広光さん

広大な里山「我田の森」で活動しています。20年前は荒れ果てた姿でしたが、山の地形を生かした昔ながらの棚田やビオトープ（池）などを再生し、自然との関わりを深めた暮らしを現代によみがえらせました。子どもたちが森の広場などで遊んでくれることが喜びです。自然教室なども定期的に行っていますので、ぜひ遊びにきてください。



本職さながらの作業

森の中の遊び場

鳩吹山ともの会



高島 勝さん

気軽に登れる鳩吹山には多くの方が訪れますが、遊歩道周辺の踏み荒らしで植物が消失したり、ごみが捨てられたりという問題もありました。そこで登山マナーを向上させて、みんなが安全に楽しめる登山道にしようと自然保護や環境保全をしています。ふもとの可児川下流域自然公園は、春にはカタクリ、秋には紅葉が彩る絶好の撮影スポットですので、鳩吹山山頂と合わせて訪れていただきたいです。



登山者の安全のために階段を整備

鳩吹山の登山道



鳩吹山を緑にする会



三宅 義信さん

昭和62年に鳩吹山で火事が発生し、元の姿に戻そうと植樹などを行ったのが会の始まりです。現在は国道41号帷子インター周辺のごみ拾いや、薬王寺の森の整備などを行っています。薬王寺には春はショウジョウバカマ、夏は大賀ハスやヒメコウホネが咲きます。古来からの植物などを後世に残していきたいです。



沿道をきれいに

薬王寺の森と池



自然は多様な動植物が互いに育みあい、生物多様性をかたちづくっています。そして人々に空気や水、食べ物、リフレッシュ空間など、多くのものを提供してくれます。人々は古くから上手に自然を利用し、共に生活してきました。このように育まれてきた場所は「里山」と言われています。しかし近

年、人々の生活スタイルが変化したことにより里山は荒れてしまいました。人と共に生きてきた動植物にとっては暮らしにくい場所となり、サクラソウをはじめ、希少になってしまった動植物が多くあります。そんな里山を守ろうと、市内で活動している団体を紹介します。

11月23日は可児市里山の日

里山の日実行委員会では里山の魅力と大切さの発信や、里山団体の活動報告の場として毎年イベントを開催しています(令和2年度は新型コロナウイルスウィルス感染拡大予防のため中止)。里山団体の活動に興味がある人は環境課へお問い合わせください。
※里山関連イベントをページで紹介しています。